

第1章 はじめに

1 研究主題

情報通信ネットワークの活用に関する研究

2 研究主題設定の背景

近年の情報処理技術や情報通信技術の発達に伴い、マルチメディアやネットワークの技術革新が急速に進展し、学校においても情報通信ネットワークを活用した新たな教育活動が求められています。実際、学校におけるコンピュータ等の新整備方針に基づく配備が着実に進み、その活用が次第に拡大しつつあります。特に、インターネットの普及は著しく、第15期中央教育審議会（以下「中教審」という。）第一次答申においても、「近い将来、すべての学校がインターネットに接続することを目指す。」等の提言がなされ、高度情報通信社会に対応する「新しい学校」づくりが進められようとしています。更に、本年度、京都府教育情報ネットワーク拠点（以下「拠点」という。）が整備され、府内各学校等からのインターネットへの接続が、今後急速に進むものと予想されます。

このような状況の下で、「新しい学校」に対応するため、学校においてネットワークを構築して効果的に活用する方法、京都府教育情報ネットワークを円滑に活用する方法の検討が重要な課題となってきました。

そこで、本研究では、これらの課題を背景に、今後の学校教育における情報通信ネットワーク活用等の在り方を検討することとし、上述の主題を設定し、研究を行うこととしました。

3 研究の内容

本研究主題に基づく研究の内容は、次のとおり予定しています。

- (1) 高度情報通信社会に対応したこれからの学校教育における情報通信ネットワーク活用の在り方、効果的活用を図るための具体的方法及び課題について調査・検討する。
- (2) 学校におけるネットワークの構築及び京都府教育情報ネットワークの円滑な利活用の方法を検討するとともに、情報通信ネットワークの教育利用における問題点等について探る。

4 研究の年次計画

本研究の年次計画については、次のとおり予定しています。

《第1年次》 平成9年度

- ・ 学校における情報通信ネットワーク活用に関する先行研究及び実践の状況を探る。
- ・ 学校における情報通信ネットワーク構築の状況を探り、その在り方を検討する。
- ・ 京都府教育情報ネットワークの効果的な活用方法等を検討する。

《第2年次》 平成10年度

- ・ 京都府教育情報ネットワークを活用した教育活動の方法及び活用上の問題点等について検討する。
- ・ 学校等の協力を得ながら、情報通信ネットワークの教育利用における課題や問題点等

について探る。

5 平成9年度の研究内容及び方法

(1) 学校における情報通信ネットワーク活用に関する調査・研究

- ・ 先行研究の成果と課題等について、文献、報告書等を調査、整理してまとめる。
- ・ 情報通信ネットワークを利用して、その教育的活用の動向を探るとともに、概要を整理してまとめる。

(2) 学校における情報通信ネットワーク構築に関する調査・研究

- ・ 先行研究の成果と課題等について、文献、報告書等を調査、整理してまとめる。
- ・ 学校における情報通信ネットワーク構築の状況を調査し、概要を整理してまとめる。
- ・ 学校におけるネットワーク構築の在り方及び具体的方法を検討する。

(3) 京都府教育情報ネットワークの効果的な活用に関する研究

- ・ 学校等を結んだ情報通信ネットワークの全国的状況を探るとともに、授業等において京都府教育情報ネットワークを効果的に利活用する方法等を検討する。

(4) 研究協力者会議の設置

本研究事業では、研究協力者会議を設置して実践的、専門的な立場からの助言を得る。